学校番号	122

平成31年度　　理科

教科	理科	科目	地学	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	61　啓林館　地学303「地学　改訂版」						
副教材等	センサー地学　（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地学では、2単位で広大な範囲を学習しなければならないという困難を逆手に取り、宇宙、太陽、太陽系などに思い切って重きを置き学習していきます。学習方法としては、教科書を暗記をするのでなく、できるだけ理由を意識して学習することが大切です。また、地学基礎と異なる点は計算の多さです。計算を用いて宇宙の広大さ、時間の果てしない長さを理解しようと試みることに取り組みます。

2　学習の到達目標

「奇跡の惑星」である地球とそれとり巻く宇宙についてについてより発展的に学び、生命を大切にする気持ちを育む。また、地学の知識を身に付けて世界を広げることで、例えば、暦や天体に関するニュースなどについてより深く理解できるようになる等、実生活にも生かしてゆけるようになる。また、地学に興味を持ち、自発的に調べたり考えたりしてゆけるようになる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地学について、関心を持ち、意欲的に学習できる。	地学の中に問題を見いだし、探究する課程を通して事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	地学や自然現象に関する観察、実験などを行い、操作を習得するとともに、過程や結果を的確に記録、整理し、自然の現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	地学や自然現象について、基本的な概念や原理を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1	宇宙の構造	**太陽系の天体**	○			○	a:暦やカレンダーの基になっている天文現象などについて関心を持ち、意欲的に学習できる。 b:惑星の複雑な動きなどについて探究、考察し、適切に表現している。 c:観察、実験などを行い、的確に記録し、探求する技能を身に付けている。 d:宇宙などについて、基本的な概念や原理を理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探求活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		恒星の性質と進化	○	○	○			
2	宇宙の構造 観と活動 地球の歴史 固体地球の概	**銀河系と宇宙**			○	○	a:プレートテクトニクスなどについて関心を持ち、意欲的に学習できる。 b:地球の活動などを探究、考察し、適切に表現している。 c:観察、実験などを行い、的確に記録し、探求する技能を身に付けている。 d地球の活動などについて、基本的な概念や原理を理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探求活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		地球の概観	○	○				
		プレートテクトニクス	○		○	○		
		地球の活動		○		○		
3	大気と海洋	**大気の構造**		○		○	a:大気などについて関心を持ち、意欲的に学習できる。 b:海洋と海水の運動などを探究、考察し、適切に表現している。 c:観察、実験などを行い、的確に記録し、探求する技能を身に付けている。 d:大気などについて、基本的な概念や原理を理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探求活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		大気の運動	○	○	○			
		海洋と海水の運動		○		○		
		気候変動と地球環境	○			○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:観察・実験の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。